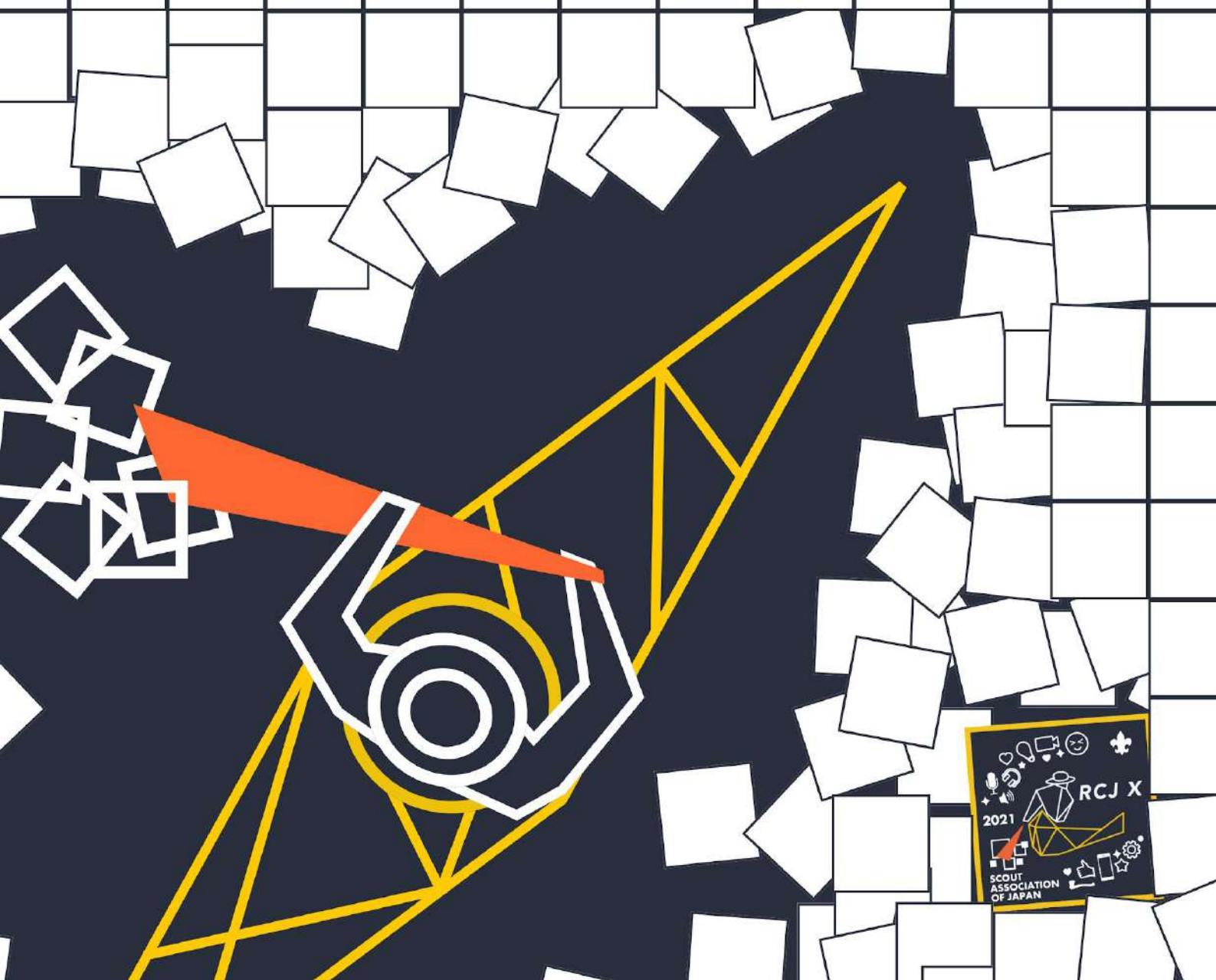


RCJX GUIDE BOOK 1



目次

1

はじめに 02

プログラムについて

- ・ 本大会のコンセプト 04
- ・ 期間前プログラム 05
- ・ 期間中プログラム 07

ツールの紹介

- ・ 大会Web 10
- ・ Ovice 10
- ・ Facebook 10
- ・ LINE公式 10

当日に向けて 11

はじめに

RCJ X

2

ってなに？

開催概要

大会名称：RCJ X

開催期間：

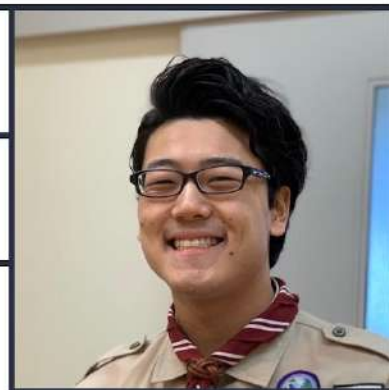
2021年11月23日～28日

実施方法：オンライン

参加人数：215名

なんで“X”（ローマ数字の10）なの？

野営大会でもフォーラムでもない本大会は、今までにない様々な可能性を秘めた大会であり、この未知な要素を未知数の“X”として表しています。またXは「交差する・超える」等の意味があるTransの略語でもあります。更に詳しい理由はWebをCheck！



実行委員長挨拶

RCJ X実行委員長
尾形 凜太郎（仙台第2団）

HELLO！みなさんこんにちは！RCJ X実行委員長を務めております、仙台第2団RS隊の尾形凜太郎と申します。RCJ Xによこそ！

「未来につながるコネクションをオンラインで」、この言葉を大会全体のコンセプトとしてRCJ Xは作られています。対面での活動自粛が始まってから、はや1年半が経とうとする中、人と人、スカウトとスカウトの「繋がり」を維持することの難しさを、誰しもが感じているのではないのでしょうか。その場だけでない、未来に残っていく人との繋がり、コネクションを、誰しもが求めているのではないのでしょうか。

RCJ Xは参加者のみなさんに「未来につながるコネクション」を提供します。さまざまなプログラムや、バーチャル空間での交流を通して、大会後ずっと残る「繋がり」を得られる機会を作ります。ローバースカウト運動は「運動」であり、人の動きです。RCJ Xへの参加を通して、コネクションを見つけ、未来に向かって動き続けましょう。みなさんと会えることを楽しみにしています。



「电脑の世界をカヌーで進む」

をコンセプトにデザインしました。カヌーやオール、漕ぐことで現れる波も直線的なデザインで表すことで、电脑の世界、ピクセル化した世界を表現しました。またRCJ Xが誰にでも開かれている楽しいイベントであり、親しみを持って参加できる大会になって欲しいという意図から、可愛いアイコンを採用しました。

テーマ“Hello,World!”に込められた意味

RCJ XIは、参加者の皆さんが、パソコンやスマホを開くことで始まる大会です。誰も経験したことのないオンライン大会であるRCJ XIにおいて、参加者はみな平等に新たな世界に開かれています。オンラインであり、多様な参加者がいるからこそ、最初の一言「Hello」を大切にしたいという想いをこめて、テーマに含めました。

また、参加者1人1人に新たな世界を見つけ、踏み出して欲しいという想いと、ポストコロナという新たな世界に向かっていく意味を込めて、そして全ての参加者が自らの手でCreating a Better Worldに向かって欲しいという意味をこめて「World」という言葉を入れています。

ちなみに👉

「Hello, World!」は多くのプログラミング言語の入門書などで、プログラムを動かすための例題としてよく使われる文字列です。プログラミングを始める人への、目前に広がる新たな世界に対しての挨拶なのかもしれませんね。

大会目的

本大会は、RCJ三カ年目標（2021-2023）にある全国事業の1つとして開催し、RCJ構成員をはじめ国内外の多くのスカウトや一般参加者にも開かれた大会とします。

ローバースカウト活動の目標を達成し、「ちかい」と「おきて」の実践を促進させる大会となり、かつActive Citizenとして自身が所属するコミュニティの一員となる上で必要な、身体的、知的、社会的、精神的啓発を促す最大の機会とします。

そして、新型コロナウイルス感染症拡大に負けることなく、「Scouting Never Stops!」を象徴する大会として、オンラインという形態で大会の開催を実現します。

日本連盟が創立100周年に、RCJが設立10周年に向かっていく中で、ローバースカウト部門の発展を体現し、国内スカウト運動の未来への「道筋」となる大会にします。

大会目標

- 1)参加者同士が友情を築き、今後生きる“つながり”を持つことで、個人や所属するコミュニティの発展に寄与する。
- 2)個人の成長に貢献でき、今後の活動に応用可能なプログラムを提供することで参加者に有意義な経験をしてもらう。
- 3)地域社会から国際社会までの幅広い社会において、貢献できる市民として必要な資質を養う機会を提供する。
- 4)新型コロナウイルス感染症拡大に負けることなく全国から参加者が集う場を提供し、ローバースカウト部門が未来に向かって発展していくきっかけとする。

未来につながるコネクションをオンラインで

本大会のコンセプトは「未来につながるコネクションをオンラインで」。
つまり、この大会で行われるプログラムは“大会期間中に実施して終わり！”ではなく、
大会が終わった後、皆さんの今後の活動を後押ししてくれるものを目指しています。

この大会で重要なのは、皆さん自身の主体性です。
皆さんがこの大会で得られるモノは、皆さん自身の本大会への取り組み方、向き合い方によって、大きく変わってきます。
様々なプログラムを通して学んだことを、今後の活動の糧としていただければ幸いです。

2021年 11月

期間前プログラム実施期間

11/1~22

大会期間

11/23~28

➔ 次の活動へ

本大会のプログラムは、
・ 期間前プログラム（野外での実活動を伴うプログラム）
・ 期間中プログラム（オンライン上のコミュニケーションを中心としたプログラム）
の大きく2つで構成されています。
プログラムは「全体行事・野外活動系・奉仕系・開発系・交流系」のいずれかに分類され、
興味のあるプログラムに対し、自由に取り組んでいただく形式となります。
それぞれのプログラムについて、次ページ以降で詳しく記載しますので、ご覧ください。

プログラムの4部類

本大会で行われる全体行事以外のプログラムは、以下の4部類のプログラムで構成されます。



野外活動系

個人単位で実施可能な、
運動・野外活動プログラム。



奉仕系

地域や環境が抱える問題を
認識して行われる、
個人でできる奉仕活動系
プログラム。



開発系

フォーラムや活動報告など、
教育的要素や自己開発的要素
を含んだプログラム。



交流系

交流の場を提供し、参加者
同士の積極的なコミュニケ
ーションを促すプログラム。

期間前プログラムとは？

本大会はオンライン開催で、参加者それぞれで住むところ、活動できる環境が異なります。しかし、このプログラムは、好きな時に、好きな場所で、自由に取り組むことが可能です。住んでる場所や空いている時間に合わせ、自主的に実施してみてください。

- 内容 -

参加者共通のゴールを目指したり、チーム同士で競い合うプログラムを考えています。

- 参加方法 -

期間前プログラムとして以下に記載するプログラムに、自由に取り組んでください。すべて個人単位で実施できるプログラムですが、チームメンバーを含む他の参加者と一緒に活動していただいてもOKです。

- 注意事項 -

- 1) 野外で活動を行う場合は、必ず所属隊長（団委員長）に報告の上、ご参加ください。
- 2) 11/3までに「プログラムアンケート #1」にご回答ください。
※このアンケートはおおよその参加者数を把握するためのものなので、実際にアンケートの通りプログラムを実施しなければいけないわけではありません。
- 3) 詳しいプログラム内容は、大会Web（P.10）に記載いたします。

実施プログラム



標高合わせてエベレストぞん

参加者全員で共通の数値目標を目指すことで、大会としての一体感を獲得する。

ねらい

- ・物理的に距離が離れていても、一緒に野外プログラムに取り組める方法を考える。
- ・個人単位で取り組める野外活動の計画を行い、実施してみる。

ルール

- 1) 参加者各々が登山の計画を立て、実施し、活動の結果をGoogleフォームで報告する。
- 2) 登った分の標高を合計し、「富士山→エベレスト」の順に踏破（標高越え）を目指す。
※標高430mの山に標高50m地点から登り始めた場合、記録は「380m」となる。

その他

最も貢献した（メンバーの記録の合計が最も高かった）チームには、景品を贈呈します。

<h1>期間前プログラム</h1>							6



ゴミ拾い 2.0

普段とは異なるゴミ拾いを通して、奉仕活動に対する考え方のアップデートを図る。

ねらい

ゴミ拾いに「ゴミアート」という要素を掛け合わせ、新しい形の奉仕活動を模索する。

ルール

- 1) Webページの作成方法に沿って、ゴミ拾いとゴミアート作成に取り組む。
- 2) 完成したゴミアート作品は、FacebookもしくはLINE公式アカウントに写真を送る。

その他

集まったゴミアート作品でコンテストを行い、優秀作品の作成者には景品を贈呈します。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



環境系パネルミッション

様々な分野の課題に取り組むことで、環境問題に対する向き合い方を改める。

ねらい

日常生活の中で環境問題に対する取り組みを行うことで、生活の見直しや視野の拡大を図る。

ルール

- 1) Webページのパネルミッションの項目に沿って、課題に取り組む。
- 2) 達成した項目はGoogleフォームで報告し、参加者全員でパネルコンプリートを目指す。
※他の参加者が既に取り組み終わったパネルにも挑戦できます。

その他

最も貢献した（達成したパネルの多かった）チームには、景品を贈呈します。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



活動と活躍のポートフォリオ

これまでに取り組んできたローバー活動をまとめ、参加者同士で共有する。

ねらい

参加者各々がローバーとしての活動や活躍をアウトプットすると共に、他の参加者の活動から新たな知見や価値観を学ぶ取る。

ルール

- 1) 自身のローバーとしての活動や活躍について、PDFデータにまとめる。
- 2) 作成されたポートフォリオを大会期間中に掲載し、自由に閲覧できるようにする。

未来に繋がるプログラム

大会期間中のプログラムは、基本的にoVice（詳しくはP.10に記載）上で実施します。

期間前プログラムのような実活動が中心ではなく、オンライン上でのコミュニケーションを中心としたプログラム構成となっています。

4部類のプログラム、そして全体行事がバランスよく配置されており、期間前プログラムと同様に興味のあるプログラムを選んで参加することができます。

更に詳しいプログラム内容は、ガイドブック#2（11月中旬に配布予定）でお伝えします。楽しみにお待ちください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

	23日(火)	24日(水)	25日(木)	26日(金)	27日(土)	28日(日)
早朝 6:00~8:00					Let's 瞑想! Cooking Time	早朝ウォーキング Cooking Time
午前 9:00~12:00					RSフォーラム [2]	VS合同プログラム Free Time
午後 13:00~18:00	開会式 オリエンテーション Cooking Time				テーマトーク	私たちの奉仕活動 ロバ活EXPO 閉会式
夜間 19:00~21:00	RSフォーラム [1]	ウェルカム ナイト	Free Time	Lifhack 紹介	インターナショナル ナイト	

■ : 全体行事
 ■ : 野外活動系
 ■ : 奉仕系
 ■ : 開発系
 ■ : 交流系
 ■ : フリータイム

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

フリータイム

プログラムを特に実施しない時間帯を「フリータイム」として設けます。この時間帯は、参加者が自由にプログラムを企画したり、交流イベントを開催したり、フランクにコミュニケーションを取ったりと、様々な活動をオンライン上で実施できます。

全体行事

開会式、閉会式、ウェルカムナイト、インターナショナルナイトの4つのプログラムを、全体行事として開催いたします。詳しい内容は当日までのお楽しみですので、是非ご期待ください。



Cooking Time

23日・27日・28日

oViceのマップ上（アクティビティの森）にある「炊事場」に集合し、一緒に料理を行うことで他参加者と生活を共にするためのプログラムです。oViceの「炊事場」は常時開放されており、いつでも利用が可能ですが、このプログラムの時間帯は「炊事場活用」推奨時間帯となります。



RSフォーラム【1】

23日 19～21時

ローバースカウト活動に関するテーマに沿って、参加者同士で議論を交わすプログラム。活発な意見交換を行うことで、互いの考えや知見を深め、皆さん自身が本大会を今後のスカウト活動に活かせるよう、意識のアップデートを図ることが主な目的です。



スカウト活動 Lifehack 紹介

26日 19～21時

ボーイスカウト活動の中で、「私の団はこんな工夫してる！」「うちの県の特徴はコレ！」みたいなことってありませんか？ 全国からあつまる参加者で地域の特徴をシェアし合って、今後の活動をブラッシュアップするための材料としてみましょ。



Let's 瞑想！

27日 6～7時

朝早く起きた参加者が、オンライン越しに瞑想を行うプログラム。ビデオ通話で繋いだ状態で実施し、終わった後は交流の時間を予定しています。インターナショナルデーの朝ひとつめのプログラムなので、海外スカウトも巻き込んで悟りを開きましょう。



RSフォーラム【2】

27日 9～12時

RSフォーラム【1】とはテーマを変え、参加者同士で議論を交わします。このRSフォーラムはインターナショナルデーでの開催です。海外のスカウトも交え、国内外の様々な視点からローバー活動、そしてボーイスカウト運動について考えてみませんか？



テーマトーク

27日 13～18時

あるテーマに沿ってフランクな意見交換を行う、討論会を実施します。1コマ45分のトークを計5回行います。興味のあるテーマを探して、気軽にお越しください。テーマは参加者の皆さんからも募集しますので、アンケートにて意見をお聞かせください。



早朝ウォーキング 28日 6～7時

朝早く起きた参加者が、同時刻に近所の散歩を行うプログラム。他の参加者と通話しながら歩くことはもちろん、歩いた後はビデオ越しの交流会も待っています。せっかくの日曜日、朝は早く起きて身体を動かし、フレッシュな一日を迎えに行きましょう。



ベンチャースカウト合同プログラム（交流会・意見交換会） 28日 10～12時

ベンチャースカウトデイのひとつめのプログラムとして、ベンチャー・ローバーの両部門のスカウトが積極的に関わることでできるプログラムです。ベンチャースカウトが抱えている悩みや疑問を解消して、彼らの今後の糧となるような話をしにいきませんか？



私たちの奉仕活動 28日 13～15時

ローバー年代、もしくはベンチャー年代だからこそできる奉仕活動は思いつきますか？これまでスカウト活動を培ってきた、そして自由度の高いローバー部門やベンチャー部門だからこそその社会貢献があるはず。部門を跨いで意見を交わす、良い機会になるはず。



ロバ活EXPO 28日 15～17時

このプログラムでは、参加者が作成した「ポートフォリオ」を元に活動報告会を実施します。全国各地で行われている多種多様なローバー活動、興味ありませんか？また本プログラムに参加するベンチャースカウトにも、ローバー活動知ってもらう機会にもなります。



オンライン写真展 （日時の指定なし）

oViceのマップ上に「展覧会場」を用意し、これまでに撮影した活動写真を掲載する「オンライン写真展」を開催します。あなたのお気に入りの1枚が、多くの参加者を感動させるかもしれません。参加者による人気投票も行うので、今から活動写真を探してみましょう。



Creating a Better World BOX （日時の指定なし）

今日の善行、何か頭に浮かびますか？普段は自分の心の中に留めている「少しいイコト」、たまには他の人と共有してみませんか？オンライン上のホワイトボードをみんなのイイコトでいっぱいにしたら、きっと昨日よりも少し、Creating a Better Worldに近づくはず。



ツールの紹介

本大会では、
オンラインでコミュニケーションを取るための
手段として、以下のツールを取り入れます

10

oVice

オンライン上の仮想キャンプサイト。
プログラムに参加したり、他の人と
交流をしたり、イベント企画したり…
気軽に声をかけあえる空間です。

oViceでできること

- ・ サイト内のアバターを自由に移動させられます。
- ・ アバター同士が近づくと、互いに音声が聞こえるようになります。
- ・ 音声だけではなくビデオを ONにして話をしたり、画面共有やホワイトボード機能を使用したりして、活発な議論も可能です。

キャンプサイト

・ エントランス

ウェルカムスペースや、全体行事
が行われるアリーナのあるエリア。

・ アクティビティの森

炊事場やプログラム会場等、主に
日中に活動が行われるエリア。

・ イベント広場

国際交流や、参加者企画のイベントが開かれるエリア。

・ ベースキャンプ (2フロア)

チームごとのテントが設営されているエリア。

・ EXPO

展示会場となるエリア。

大会Web



本大会の情報が集約されるWebページが完成しました。
プログラムの詳しい説明もここに記載されるので、
困ったことがあれば、このページをご覧ください。

【ブックマークがお勧め】

閲覧はコチラから →→→



Facebook(グループ)

用途：活動の様子を自由にアップしたり
他参加者と関わりを持てる場

登録方法

- 1) Facebookにログイン
またはアカウント作成
- 2) QRコードから
グループに参加



LINE公式アカウント

用途：運営から参加者への一括連絡、
参加者から運営への連絡等を行う

※登録必須です

登録方法

QRコードから友達追加
※登録済みの場合は不要
(広報で使用していた
アカウントと同様です)



当日に向けて

11

実行委員会からのメッセージ

11/1より期間前プログラム開始、そして、その約3週間後には本大会の開催が迫ってきています。実感は湧いてきましたか？

当たり前かもしれませんが、これは実行委員会が作る大会ではありません。

参加者である皆さん自身の大会です。

オンライン大会という初の試み、直接会えない仲間、感じられない熱量、対面開催の大会に比べて物足りないところはありますが、RCJ Xもひとつの大会です。対面開催に負けない要素も数多くあるはずです。

そして、この未知の大会に埋まっている原石を掘り出すのも皆さんです。

期間前から期間中までの様々なプログラムの中で、多くの皆さんの姿が見られることを、実行委員一同楽しみにしています。

それでは、11/23の開会式でお会いしましょう。

実行委員の紹介



実行委員長
尾形 凛太郎



総務部長
山路 卓



広報部長
白澤 唯



副実行委員長
小馬 加奈子



プログラム部長
佐藤 優真

お問い合わせ

日本連盟事務局 Email : rcjx-office@scout.or.jp
大会実行委員会 Email : rcjx@rcj.scout.jp